

2020年7月31日

ヤクルトレディ冬制服をモデルチェンジ ～15年ぶりのモデルチェンジで機能が向上～

株式会社ヤクルト本社（社長 根岸 孝成）は、ヤクルトレディの冬制服を15年ぶりにモデルチェンジします。

新冬制服は、2020年10月から全国約33,000人のヤクルトレディが着用し、ヤクルトレディおよびヤクルトグループの更なるイメージアップを目指します。

ヤクルトレディの新冬制服の特長および概要は下記のとおりです。



記

1. デザインコンセプト

「毎日会いたくなるような、親しみのもてる元気で明るいヤクルトレディ」をテーマに、「清潔感」「さわやかさ」「明るさ」を感じさせるデザインとしました。

【デザインのポイント】

- 濃紺ブレザーで、洗練された働く女性の美しさを引き出すとともに清潔感を感じさせます。
- 赤いラインやチェック柄を効果的に配すことで、お客さまからの視認性を高めるデザインです。
- リボンは顔周りを明るく見せる色合いで、笑顔をより引き立たせコミュニケーションの活性化に繋がります。



2. 機能性

ヤクルトレディから要望の高い「軽量」「着心地（ストレッチ性）」「保温」強化に力点を置き素材を改良しました。

【機能のポイント】

- ジャケット、スラックスの重量を20%軽減し、ストレッチ性を2～4倍向上（ともに現行品比）させました。
- ジャケットには体から出る遠赤外線を熱に変換する「蓄熱保温裏地」を使用しています。
- 室内外の行き来で生じる発汗と冷えの対策として、ブラウスに吸汗速乾機能や消臭テープを付加しました。

3. 新冬制服の概要

（1）アイテム

ジャケット、ベスト、ブラウス、スラックス、キュロット、リボン、帽子

※下衣はスラックスまたはキュロットから選択して着用

（2）導入時期

2020年10月

（3）導入地区

全国（日本のみ）

（4）ヤクルトレディ数

32,665人（2020年3月末現在）

(5) デザイン制作

オンワード商事株式会社

以上

【ヤクルトレディについて】

1963年に採用されたヤクルト独自の宅配システムで、国内で「ヤクルト400」をはじめとした食品および化粧品などをお客さまにお届けしています。また、ヤクルトレディは海外におけるヤクルトの普及の大きな原動力であり、現在はヤクルトを販売する海外39の国と地域のうち、13の国と地域に広がっています。

ヤクルトレディの人数は、国内32,665人（2020年3月末時点）、海外47,471人（2019年12月末時点）となっており、多くの国でお客さまの健康づくりをお手伝いしています。

【国内のヤクルトグループにおけるヤクルトレディの労働環境整備に関する考え方について】

ヤクルトグループは、ヤクルトレディの制服の機能性改善や多様な働き方の推進などの労働環境整備を通じて、全国のヤクルトレディが、家庭、職場、地域で、生きがいを持って充実した生活が送れるように支援します。

1. 多様な働き方の推進

ヤクルトグループは、ヤクルトレディのライフプラン、キャリアプランに応じ、さまざまな働き方の選択ができる制度を、2021年度中に整備します。

生活スタイルに合わせた自由な働き方や、一定の条件を満たし雇用を希望するヤクルトレディを社員化し、安定的な働き方が可能となる制度の導入など、多様な働き方を選択できる環境整備を推進します。

2. 相談サービスの充実

ヤクルトグループは、ヤクルトレディおよびその家族を対象とした①健康、②育児、③介護、④ファイナンシャルプランに関する相談サービスの充実を図ります。

3. 宅配サービスの強化を目指した教育支援

ヤクルトグループは、ヤクルトレディの宅配サービスの強化を目的とした教育環境の充実を図ります。

お客さま対応力の向上や商品知識の研修に加え、通信教育制度の充実による自ら学習する場面の提供をこれまで以上に充実させるとともに、グループ内資格制度の推進等も行っていきます。